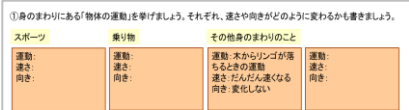
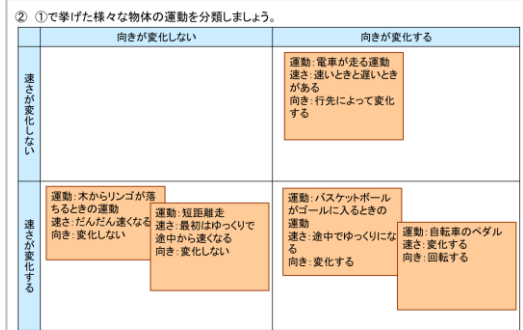


おすすめICT活用事例のご紹介

区分		学年	教科等	単元等	活用ソフト	
中		3	理科	運動の速さと向き	プレゼンテーションソフト	
授業内容	いろいろな運動を挙げ、運動には「速さ」と「向き」があることを理解する				活用ツール	共同編集
	準備： ・ワークシート用ファイルを準備する。 ・ワークシート用ファイルを班の数分コピーして、共同編集できる場所に保存する。				ワークシート①（入力例） 身のまわりにある「物体の運動」を列挙する	
	授業の流れ： 1. 理科用語としての「運動」について先生の説明を聞く。 2. 自分の班のワークシート用ファイルを開き各自、身のまわりにある「物体の運動」を列挙する。（ワークシート①） 3. 班の代表の人が、ワークシート①で列挙した運動のカードをワークシート②にコピーして、班で話し合いながら、運動を速さの変化の有無と向きの変化の有無で分類する。（ワークシート②） 4. 各班の意見を全体で共有する。 5. 運動の列挙と分類をしたことで気づいたこと、疑問に思ったことを全体で共有する。 例）電車は速度が一定の区間と、速度が変化する区間があるので分類に迷った、ボールを蹴る運動は人の運動とボールの運動とがある、等 6. 運動には「速さ」と「向き」があること、及び速さには「平均の速さ」と「瞬間の速さ」があることを確認する。					
	ICT利活用のポイント				※「スポーツ」「乗り物」「その他身のまわりのこと」と項目を出しておくことで、列挙しやすいようにしています	
	班で共同編集することで友達の意見をヒントにしてアイデアを出すことを促します。				ワークシート②（入力例） 列挙した運動を分類する	
おすすめポイント						
				※ワークシート①で列挙した内容をコピー＆ペーストして分類します		

①身のまわりにある「物体の運動」を挙げよう。それぞれ、速さや向きがどのように変わるかも書きましよう。

スポーツ	乗り物	その他身のまわりのこと	
運動：速さ：速さ 向き：向き	運動：速さ：速さ 向き：向き	運動：速さ：速さ 向き：向き	運動：速さ：速さ 向き：向き

※「スポーツ」「乗り物」「その他身のまわりのこと」と項目を出しておくことで、列挙しやすいようにしています

ワークシート②（入力例）
列挙した運動を分類する

②で挙げた様々な物体の運動を分類しましょう。

向きが変化しない		向きが変化する	
速さが変化しない	運動：速さ：速さ 向き：向き	運動：速さ：速さ 向き：向き	運動：速さ：速さ 向き：向き
	運動：速さ：速さ 向き：向き		運動：速さ：速さ 向き：向き
速さが変化する	運動：速さ：速さ 向き：向き	運動：速さ：速さ 向き：向き	運動：速さ：速さ 向き：向き
	運動：速さ：速さ 向き：向き		運動：速さ：速さ 向き：向き

※ワークシート①で列挙した内容をコピー＆ペーストして分類します